





C	\frown		\mathbf{T}	
			TITLE	
		\	V	

New Year H.C.R. 2020	1
第46回 国際福祉機器展 H.C.R. 2019報告 1 オープニングセレモニー	2
2 来場者数・来場者割合 ————	2
3 出展社数	2
4 国際シンポジウム ――――	2
5 H.C.R.セミナー	3
6 特別企画3	,4

7 出展社プレゼンテーション ――――	5
8 来場者アンケート結果	6
9 出展社アンケート結果	7
10 広報、PR活動	8
11 車いす貸出コーナー&シャトルバス ――	8
12 2019年度版 福祉機器ガイドブック ――	8
次同問催予定•	

Publisher: Health and Welfare Information Association

住所: 〒100-8980 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル

H.C.R. 2020の会場とご出展について —

International Home Care & Rehabilitation Exhibition

New Year H.C.R. 2020

すべての人々のための包摂的な社会づくり、豊かで活力ある未来を創る! 福祉機器の開発・普及に一層の期待が高まっています

2020年代に入り、いわゆる団塊の世代のすべての人が75歳以上とな る社会が5年後となるなど、わが国ではさらなる少子高齢化が進んでい きます。これにより、介護や福祉ニーズの増大が見込まれ、さらなる福 祉人材の確保、育成、定着の取り組みとともに、高齢者や障害児者が、地 域で自立生活を維持し、生きがいを共に創り、支え合う共生社会づくり が求められます。

国際社会においては、すべての国に適用される普遍的 (ユニバーサル) な目標であるSDGs (Sustainable Development Goals)を国連サ



ミットで採択 し、豊かで活 力ある未来を 創ると、2030 年までの17の 国際開発目標 をかかげてい ます。目標3に は、あらゆる

年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進するとし、目 標11では、包括的で安全かつ強靭で持続可能な都市及び人間居住を実 現する「持続可能な都市」などの目標が掲げられています。日本におい ては政府に推進本部を設置し、産官学をあげての取り組みなどを働きか けています。

また、いわゆる骨太の方針2019で打ち出したSociety5.0では、IoTで すべての人とモノがつながり、さまざまな知識や情報の共有をはかるこ とで、少子高齢化からくる多様な生活課題の解決につなごうとする情報 社会の実現を進めています。たとえば、医療・介護分野でのICT、AI、ロ ボットによる生活支援や、介護現場での補助ロボット、ICTによる情報 処理での負担軽減なども盛り込まれています。

本会ではSDGsの理念にもとづき、高齢者や障害者が地域のなかで社 会参画を果たしながらゆたかに生活できるよう、Society5.0の推進動向 も視野に入れつつ、多様な介護等支援ニーズに応えるための福祉機器情 報を発信する機会の提供、さらに、介護スタッフ等が働きやすい福祉現 場の環境づくりをすすめるための、福祉機器関連の幅広い情報の提供に 努めてまいります。

ユニバーサルデザインの社会づくりに貢献するH.C.R. 2020

本年は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され ます。これを機に、わが国において一層のユニバーサルデザインに基づ いた共生社会づくりが内閣府と各省庁との連携のもと、進められること となります。

今年で47回目となる国際福祉機器展H.C.R.では、国内外の最新の福 祉機器の展示をはじめ、福祉機器の適切な選び方・使い方の一般的な知 識、福祉機器に関連する社会保障制度の動向、国際的な福祉・医療制 度・施策の最新動向、ICTやロボット介護支援機器の活用による利便性 の高いコミュニケーション支援の実現など福祉現場の職員の働きやす い環境づくりのための情報、高齢者や障害者などを支える安全性・機能 性に優れた福祉機器の開発・普及および福祉機器市場の発展などに対 する情報提供を行い、10万人を超 える来場者に満足いただける展示 会をめざします。

また、本年は、東京2020オリ・パ ラ大会の関係から、昨年に引き続き 東京ビッグサイトの西・南展示ホー ルでの開催となります。ご出展社・ ご来場者の皆さまが安全に安心して



展示会をご活用いただけるよう、一層の充実を期してまいります。

H.C.R. 2020の開催にあたり、ご来場者、出展企業・団体をはじめ関 係者の皆さまのご支援・ご協力をお願いいたします。